

研修カリキュラム(第一号研修・第二号研修)

1 基本研修(講義)

(単位:時間)

大項目	中項目	時間	日程	開始時間	終了時間	月日
オリエンテーション				9:30	9:50	
1 人間と社会	(1) 介護職員と医療的ケア	0.5	1日目	10:00	11:30	令和8年 6月4日 (木)
	(2) 介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	1				
2 保健医療制度とチーム医療	(1) 保健医療に関する制度	1		12:30	14:30	
	(2) 医行為に関係する法律	0.5				
	(3) チーム医療と介護職との連携	0.5				
3 安全な療養生活	(1) たんの吸引や経管栄養の安全な実施	2		14:40	16:40	
	(2) 救急蘇生法	2	9:00	11:00		
4 清潔保持と感染予防	(1) 感染予防	0.5	2日目	11:10	12:10	6月11日 (木)
	(2) 職員の感染予防	0.5				
	(3) 療養環境の清潔、消毒法	0.5		13:10	14:40	
	(4) 滅菌と消毒	1				
5 健康状態の把握	(1) 身体・精神の健康	1	14:50	17:50		
	(2) 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)	1.5				
	(3) 急変状態について	0.5				
6 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論	(1) 呼吸のしくみとはたらき	1.5	3日目	9:00	10:30	6月18日 (木)
	(2) いつもと違う呼吸状態	1		10:40	12:40	
	(3) たんの吸引とは	1		13:40	15:40	
	(4) 人工呼吸器と吸引	2	4日目	15:50	17:20	
	(5) 小児の吸引について	1		9:00	11:00	6月25日 (木)
	(6) 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5				
	(7) 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)	1	11:10	13:10		
	(8) たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認	1	14:10	17:10		
	(9) 急変・事故発生時の対応と事前対策	2				
7 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」実施手順解説	(1) たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1	5日目	9:00	12:00	7月2日 (木)
	(2) 吸引の技術と留意点	5		13:00	15:00	
	(3) たんの吸引に伴うケア	1				
	(4) 報告及び記録	1		15:10	16:40	
8 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論	(1) 消化器系のしくみとはたらき	1.5	6日目	9:00	11:00	7月9日 (木)
	(2) 消化・吸収とよくある消化器の症状	1		11:10	12:10	
	(3) 経管栄養法とは	1				
	(4) 注入する内容に関する知識	1				
	(5) 経管栄養実施上の留意点	1		15:20	17:50	
	(6) 小児の経管栄養について	1				
	(7) 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	1	7日目	9:00	10:00	
	(8) 経管栄養に関係する感染と予防	0.5		10:00	11:00	
	(9) 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1		11:10	12:10	
	(10) 急変・事故発生時の対応と事前対策	1		13:10	17:10	
9 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説	(1) 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1	8日目	9:00	11:00	7月16日 (木)
	(2) 経管栄養の技術と留意点	5		11:10	12:10	
	(3) 経管栄養にともなうケア	1	9:00	11:00	7月23日	
	(4) 報告及び記録	1				
	合計時間	50.0				
筆記試験		1	8日目	11:15	12:15	7月23日(木)

2 基本研修(演習)

行 為		必要回数	実施回数
たんの吸引	口腔内の喀痰吸引(通常手順)	5回以上	5回以上
	鼻腔内の喀痰吸引(通常手順)	5回以上	5回以上
	気管カニューレ内部の喀痰吸引(通常手順)	5回以上	5回以上
経管栄養	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養(滴下型)	5回以上	5回以上
	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養(半固形型)	5回以上	5回以上
	経鼻経管栄養	5回以上	5回以上
救急蘇生法		1回以上	1回以上

7月28日(火)
7月29日(水)
7月30日(木)
7月31日(金)
9:00~17:30
いずれか1日
(各日最大6名)

3 実地研修

(1) 第一号研修

下記の行為すべてについて実地研修を修了すること。(人工呼吸器装着者に対する吸引を行わない場合は、人工呼吸器装着者に対する吸引を除く。)

(2) 第二号研修

下記の行為いずれかについて実地研修を修了すること。

行 為		必要回数	実施回数
たんの吸引	口腔内の喀痰吸引(通常手順)	10回以上	10回以上
	鼻腔内の喀痰吸引(通常手順)	20回以上	20回以上
	気管カニューレ内部の喀痰吸引(通常手順)	20回以上	20回以上
経管栄養	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養(滴下型・半固形型)	20回以上	20回以上
	経鼻経管栄養	20回以上	20回以上